上せしめた。他、トロキナ岬の蜿蜒地をも変略し、一ク所より大火災を生せしめた、次いで十七日星朝トロキナ岬池で、ロキナ岬および、モノ船の、蜿蜒地を線破、十六日、末明にはトロキナ河口、ブルア・夕島の、敵陣・地 を爆砕、 一を線縦すると共に、附近渓里において敵飛艇を指揮攻撃し続大な戦災を收めてゐる。すなはら十五日夜、一回に買うて、フーケッ

を虱潰し

-

一輸 擊送 破船

わが海螺は運日欧上陸監附近を

り、寒、多大の成鬼を收めた、動かり、現地増弱状況底察職は九日から 日間、日本職等領南浦戦銀所名

曽班とする冒民合同の第一回生産打削のため原田郷野麻藍条説長を

す如く同方面職の反攻意間は、した、累次に亘る声戦の機相が

海賊から廿一日目の十七日第五

おける決職は郷一郷と激烈の

來わが方は樹蠟無比の複雑をもつ

登成を帰還し、全世界を撤回せ

我方は第五次プーゲンビル圏沖

航空限に於いて限大型航空母艦

た関民は、その偉大なる武勋が ル思沖航空取の輝く戦果を知つと 說社

輝く戦果に應へん

が神民にして初めて無し能ふところである。

 **耐酸原を削まで温暖し、またはが、この時間に適定せんとする** 

殿城的なる打躍を受けつくも週

を激へて、その一隻をも於さず

第三の出戦部隊を送り得るなら 走せる狀況を知る毎に、第二、

> の際ひを以てすれば、米本士の 心るやを思はざるを得ない。こ

を難解説され、

戦が繰返されたのを思い、 この間において四十四隻の

いのである。と同時に、

で我が開設なる形成は**、** 

大学、合むて大学を解沈し

続士信する戦を項に指揮

勝史に おいてこの真びか

所域において航空特職三隻以下衛艦舶七隻を帰り航空減止に不滅 不可管語】 特國海東航空經院は十七日未明またもプーゲンビル場

る、一方わが方は未儲潤五機の聲い総性を出したがわれわれは

敵集結艦隊の

大部分擊碎

れは南太平洋海阪につぐ大阪泉で

京電話】 新國海軍航空部隊は十七

巡艦等四隻も血祭

撃し左の戦果を得たり 七日未明『ブーゲンビル』島南方海面にお 大本營發表(+1月+七日+六時三十分)帝國

いて 敵機動部隊を捕捉攻

**轟沈** 大型航空母艦一隻

擊沈一中型航空母艦二隻、巡洋艦三隻、

大型軍艦 (艦種未詳)

我方の損害未歸還五機

、註)本航空戰を第五次ブーゲビル島沖航空戰と呼稱す

海鷲必殺の猛攻

全空母忽ち海の藻屑

西方数十冊を航行中なるを發見、待機中のわが攻撃機関は必殺

語を抱いて報脳群に殺到際情りの肉藻語雕あるひは的際無比の機能

横の

連繋に隘

雪
生
を
取
に
注
き
や
型
と
の
型
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の

する関心が一般に滲

割が母神門局に特して似上の熱心のためとみられる即ち技術

大型軍艦(艦頭未詳)一年蛟沈の蘇々たる服果を收めたのであ

空母三隻を轟撃沈

る補ふべく新く増殖成つた機動部

にまた8月27日合計五十三級突襲となった姿力はこのうち824円機を撃墜した來襲したが、わか単はこれを歌解1826十五機824元機合計二十機を撃墜した。本襲したが、ある十三年間入場ころする200万ち824円機を撃墜した

を開家した。力が軍には被害なし で開家した。力が軍には被害なし

鹽澤海軍

大將薨去

第五次ブーゲンビル島沖航空戦

綜合戰果

撃沈 計 4 7隻 限 隆 4 大型空母 2 中型空母 3 大型巡艦 9 大型車艦 (隆田末)1 巡覧方は 大型開発 階 逐 勝 13(17)6 E (P) 3 Ma

撃破 m 33年75 2(本般 2(小 1(大

1(炎 我方の損害

2 隻沈液 2 隻小破 110日爆水隔頭 7 過傷

關 逐 戲 巡 详 歸 飛行機

正し 
起映的な原因は南太平洋方面 
が、さらに 
成窓母盤中心主義の 
取稿をとったのである 
取稿をとったのである を原因は 御稷威の下 忠敬勇英な

に訓練に技倆に魅力において遙か 香港でも一 は強いである脳を楽げねばならぬ

整

に來願したが、選早く出動せる我 りなる 欧空軍はまたも 香港地區 時五十三分頃、鼠爆連合十數機よ 後零一機を瞬間にして膨胀、さらに適 機擊墜

來襲機廿五擊墜怒 機配機に多数の耐燃期を命中せしたせんとする影機を追跡して大型 めた、敷機は耐々たる黑型につく 調査會を積 極的に活用

し直ちばこれに猛躍を加へてBA

一百二十機をもつて大學、同期屋における航空決戦はいよい の組織なる役割を逃憾なく果力が勢を一層整固にし政府と同 でに之が第一輪手として **貴院、政府へ協力** 

し、諸般の劉策を考究権制す

飛躍時代の貯蓄には

無務課長)新圧機切のため十七〇百村長一氏(緊閉機)受後援事業 ◆宮原宝年氏 (同上來基) 新機州

山一の投資偏託は新時代に相應し、最良の貯蓄法です。

京城府苏金町 山一

一到着した、國际外交部ならび

| 陳宮院別章一海町大麻村東高港の | 茂表を行なった。

廿日帝都で海軍葬

際司令官を細て上海事地に活躍、 Uなりのち第一艦隊を認

治三十七年海兵卒、御大卒後東田大將、嶋田祁相などと同功で

海頭では 故大解の 傑功に既へ及 海軍省公表

て勝志はリートの条件を検えて (十月十

一種軍大器の選軍総議に加州等。で地式により続行、引続き售別は「東京は語」数単事業議官開始等。で地式により続行、引続き售別に

お作する

み込んである社立である▲同様の

麥增產 鹽田局長食糧事情を語る 總力傾注

占領

O折衝中の際田路休局是は十

大東亞新聞大會

一ツ軍と堕部隊に輝伏し 勝島レロス船の東軍

力の私ははこくにある人様々は是

【東京館話】 共榮大東部建設の 思想戦士の意氣昂 日幕

立國七つの地域代表新聞人八十五 ・ソピアン(プワルタ・セレベス マナイ

地址

農物器でごれ限力の傾痕であり間の代数の生活をしてはゐないか。 後の戒としようではないか。に繋がる状、帰薬の例をとつて銃 のながら事實はそれとは凡不要性 7.1



英機十六撃

響問題

大機十六撃墜

英驅逐艦擊

製造で |



本人を成験させたのは何名な明だ

**掛してゐる關鍵指導者の際が少年** 

肥料になる。と言って目域した日

雷全養教と

東京市が高端領土の大工・東京市が高端等に入口、日九七二・東京市が高端に入口、日九七二・東京市(〇五二)

3上,斯曼

消

1

を高中の | の廣十八日館城の豫定 | ◇季川九男(泰主輔長官)東上中

◆內斯亞夫與(呼金經統副與納維 安征孫)與兩聯出聚中十七日酬

(製作) 日米(図政的はプランス解放委員會

【プエノスアイレス十六日同盟】

米、重大申入れ

に對し、レパノン騒響に関する国

内, 水 服 の

大申入れを行つた監報道してめる

と服じを決して、テューリット七日同間 ラ・した四半別 の見を達ぶる 第三といれば、人研師と思いるに食風 は時が誤解大本感に耐きに誘惑した。 供用の の見を達ぶる 第三といれる

ツ軍に完全に占護された

T,

獨伊兩首腦會談か

かり、かりといけれる。

内鮮母姉 學兵・を語る 立

遅るな榮光の首途

遙々戰線突破で北支から受檢

梅津上等兵

**家庭燃料確保に本府で對策** 

行きましたが、その時はすつかり

語る人

法専の。出陣二重奏

命も名も

結婚から志願へ二重の喜び Ġ

祖國に報いん

卒業生の重光君志願

響

料資金を収

解釈で場

を で 行はれ に 日本ニュ

. 4

本社寄託樹 國防献

ξ.

民族と同窓徹色がなきのみならい 电激物し、朝鮮人全性の疑問の

属價を發揮し網探大

朝鮮の將來は學徒に懸る

総するのだ。 守宮で刊を迎べて破 | 雨る、郷野不忠の総里の戦前原が にでおうと

一年度に強くるやうになったので

牛島出身陸軍中佐平山輔英(彰

畏し賜謁の光榮

原京配品]米英剛被の士氣結及 | レ舌和単氏線検、機関線検、網理

## 學徒よ聖業達成 即刻志願の手続う

禹半島民の 運命が かゝつてゐるのだ、躊 にも 築譽嚴肅その

みであり、それ等素 仕者の 同胞の

米英放逐の偉勳

食はやり 質炎 はやり質炎

社會式株型天参取大本的所行發

前線將兵へ感謝決議

目を強く美しくします

補給不足で敗戰。

中風·高

ララスなかのカラスを表して、これでは、 大いのでで、 大いのでは、 、 大いのでは、 はいのでは、 、 はいのでは、 は

北支開發副總裁

津田秀榮氏任命

理事中村学次郎氏が昇格氏が

「のいした。
 「のいした。
 「のいからいちゃった。
 「のいちゃった。
 「のいちゃった。

原因を明にし 今津博士の素晴しい研究 血壓·神經痛 だ 15 th

## 愛着を、威してゐる 牛

兵員三萬が藻屑

附近における米國艦(クスが得意の戦闘を限うてゐるた)。『森米酸の機関トルム十七日同思』フ一味の樹園については海郷長電ノツ一般在れ』との疑問

・ レンピル風が配合風に関する大
スルリンナ七日间間 郷五次ブ

食慾!

\_ 奥十五四一名才初·南湖

病弱胃腸の治療・強化に

恢復の秋!

消化力!

は、なられ、 なられ、 でく決心 になく決心 みなのだ。

夫余す。

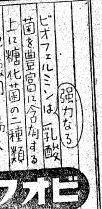
場カタル

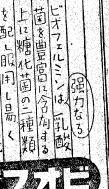
江若动

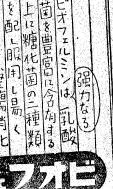
途、忠良の臣民たれ

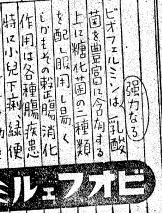
の下時戦 と康健に性女 皇 生く輝に性知 ノるへ與を彩



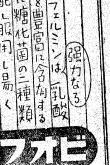


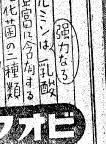


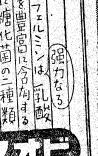


















の徹兵適齢者の指導者とな

純來を正規するに内地同題と共に大東語共衆國を確立しそ る、われくの地位前にその の抵伍はまた独らないのであ **父兄は出陳墨徒に優るともそ** 

果としようではないから

の皇民年間の歌喜は極まれり 『義に徹民制変節の光索を接 り將又慰徒出陣の光榮を重ね

> 語君を指導改即すべきわれ等 のである、この責任国い発徒の中核に

學卒業—は 東京縣 大木科三年 |一白|||常高東徳君(一)||三京版

心ので、志願を終ると《征 ・東和で何よりも難しい私」名内別事場に志願したもの懐赤にいずべく側を辞亡の危機に、出願が終業四十一名中出願者十三に置る。 うて返したが、流脈たる

二十一名志願。歌奏

で職域奉公

化源門の開名を以て全員志順手續

「順有資格者は十七日の金山春

道内閣徒志願總数は九十五名で十 |敏氏長男世一君(つき)は軍人たらん||海州呂澤町一属二五七ノ八武原光

一度にと十七日本社に客託した 一腕筋、離出しあつた九十一圏を海 はブーゲンピルに陸艦撃る推報に十五級、森根登四郎氏以下十七名

海軍へ感激の献金

させるといふ一般常識を他所に、「東京電話」曖爭は出義率を低下

人口增加百廿萬

人的資源に不敗の態勢

、差でられてゐる。 長期職さ

子島學徒

總蹶

おめでた』中の解産婦は〇〇 德田 秋聲 氏

判拠部が所敬中確的首令部へ成然志願、飛頭の最を耽くの報が十七日を整るや父として、夕れらまを昼國臣民でなり切るその日を今日、明日に迎へた。このとき京城府維護閣署護町九七字を構氏は次男京都商部越大經濟展証一年に完璧する李 |近出来たぐと駆撃の脳に一夜を織して継を載し、9老が子を燃煮と能力せよりと同学問題述文見ら言で『の書や十八日末明歌編、要し子祀きて記述なりの心態を発生』の思信文見に同

> であることを銘記せばならぬ あり、適格學使諸君は試金石

男気なき者は勇成出來す。

張下の現隔でさへわが<br />
欠わが

心然と征かしめようでは

しては一生の恥だと歌浩と たもので類似しい世間の政策を

際久に生きるか後れて飛を子歌に貼すか。 生島は寒光の前に鼻髭ひして途に

命を待つべきであらうか

く者に如何なる勇氣があつて 敵を倒すことが出來ようか、

を無聴し圏がな沢をもつて征

快なる哉愛見

一夜を徹し『父兄に

の牛九\* 【釜山遠く上海にゐ を激励、召され征く光

二中)長女正惠(結婚東京現住)

**至鮮一の金字塔** 成南は見事七割突破

東平壌の志願

高重徳君欣然と志願

大よ心置きなく

決意の手紙に動ぜぬ學兵の妻

同體演があー関防制金として差出した人本管機能、作じて原規をとして差出した

城大から献金志願兵記念に 報局次長より説明、

個した城大豫科戦員生徒一同はこ

は令第光平 (駒場壁大) 同忠武 検査受機能を容留地 朝鮮に在留する内 やう各兵事部では該

決戦場へ蹶起、+七晶道廰から三君 [全性]

期

に氣揉む飛電

ふは十六日平南道震察部を訪れて

心願手継きをとつた「東京―溝元

海の五男へ『志願遅るな』

意氣嬉し子賓部隊の

母

八名に達し全部では二十一名とな

**簽印をして就職先、または學校へ** 

山茶蘭氏長男尤德君(專修大)東 また志願届が期日まで遅れじと二名(岐陽)

適格者八名

(中央大)の開君は歸郷と同時に 本頭領 表別

繁健時 別志順長に 駆ってゐる もまた単元に劣らぬ烈々集団

江西閣へ出資志願手繼きをとつた 高田純の栄養に馳せ巻せん の名類を上げる

私達の兄を弟を戦列へ ※生に告ぐ\*の檄

『整備要綱を決定し、出版の【東京電話】政府はさまし

非形治ドロ 世紀の决戦場 <u>可</u>。 フ

夜公-回開日 格。践 【 【】 場九幕 回提大劇現潑 公携陸團代剌 演第劇高人た ノー場協のる 沈影外其の一 派總出演! 

岩 海軍省推薦 路・西條八十 曲·古網俗而 0) (面片) 大戦空の ドーコレケデッニッジョモルロコ

温和 **计工类状式向业** 林疾にコノフ

波響島

デ足な楽雅分は常に観光して下さいな。 を当時的に綜合含有せる本類により リュム・B・D輿・鹺・カルシウェ

空は健康の決戦場だ…… 音等は一瀬も早く晩巻じ 音等は一瀬も早く晩巻じったの点場者があってるちょせん 都品類補本館 5ワツミ 〇 京集

提共 1.27 2.33

況全

優異軍人開拓側

£

and the second s